

6 課題・方向性

- ・ 調査対象箇所が小規模分散化してきており、調査対象となる森林所有者数も多くなっていることから、区域調査においては森林所有者や境界の特定、実施計画書調査においては、測量に多大な時間がかかっており、早期の森林整備の発注に支障をきたしています。
承諾の得られた森林所有者の周辺の森林所有者にも事業の説明を行うなど、集約化の推進を図ります。
- ・ 不在村森林所有者の増加等により、森林境界や森林所有者の特定が困難な状況にありますが、引き続き市町村の個人情報保護条例及び林業担当部署と連携・協力し、また、今後作成される林地台帳を活用し、森林境界と森林所有者の明確化に取り組んでいきます。
- ・ 奥山での作業箇所や小規模で分散した作業箇所が多く、作業効率が向上しないため、これまで以上に労働力が必要となってくることから、受注者に対し、新規就労者の雇用促進や下請として協力会社を活用するなどの指導を行っていきます。
- ・ 過密林を間伐することにより、野生獣が整備後の森林に進入しやすくなり、地域によっては皮剥等の被害が発生していることから、皮剥を防止するための資材等を残存木に設置するなどの対策を行っていきます。
- ・ 区域調査委託による受注者からの説明では理解を得られず、協定が締結できなかった森林所有者については、引き続き担当職員と森林組合の担当者が連携・協力を図りながら、森林所有者への説明を行うことで、協定締結の推進を図ります。
- ・ 平成28年度は、平成27年度繰越予算分として542ha、平成28年度予算分として281haの森林整備を実施しました。区域調査を先行して実施してきたため、繰越は対前年比73%と減っていますが、依然として繰越が多い状況となっていますので、繰越箇所の早期完成及び繰越解消に向けた早期の森林整備の発注を行います。

7 実施状況の評価（評価者：県）

- ・ 平成28年度予算での森林整備目標790haに対し、約680ha（年度内完成281ha、繰越399ha（稼働中））の森林整備を行います。
区域調査・実施計画調査を先行して実施したために、目標達成には至りませんでした。繰り越しの解消に繋がる結果となりました。
- ・ 担当職員と森林組合の担当者が連携・協力したことにより、区域調査における協定締結の推進が図られました。
- ・ 担当職員を対象とした選木技術の向上を図るための現地研修を実施し、気象災害を受けにくく、公益的機能が向上する森林整備の推進が図られました。

8 平成29年度の目標面積等

- 平成29年度 水源地域等の森林整備事業 目標面積等について

単位(ha)

事業名	区分	5カ年計画	平成26年度実績	平成27年度		平成28年度				平成29年度予算目標
				計画	実績	計画	実績	繰越	計	
条件不利地森林整備	区域調査	—	1,215	1,874	1,107	1,550	668	32	700	1,400
	実施計画調査	—	421	1,039	645	800	225	231	456	700
	森林整備	3,500	276	700	466	650	168	249	417	650
水源林機能増進	区域調査	—	401	397	951	385	414	31	445	420
	実施計画調査	—	122	300	539	222	94	199	293	210
	森林整備	500	88	165	233	100	87	135	222	100
松くい虫被害地の再生	区域調査	—	162	45	105	80	148	70	218	100
	実施計画調査	—	36	45	13	40	42	0	42	50
	森林整備	200	11	20	31	40	27	15	41	40
合計	区域調査	—	1,777	2,316	2,163	2,015	1,230	133	1,363	1,920
	実施計画調査	—	578	1,384	1,196	1,062	360	431	790	960
	森林整備	4,200	375	885	730	790	281	399	680	790

- 平成29年度については、平成28年度繰越事業分の399haの森林整備を早期に完成させるとともに、全体計画である4,200haを見据えた上で、新たに790haの森林整備面積を目標に、水源かん養機能などの公益的機能を高めるための森林づくりに取り組みます。

9 評価検証委員会の意見

- ・本基金において予算配分が最も多い条件不利地森林整備の年度別進捗率は、平成27年度66.6%、平成28年度25.8%となっている。全体の計画面積3,500ha内、整備を完了したのは3年間で910haとなっており、全体の進捗率は26%となっている。この要因は、当該森林の所有者の所在が解らず、境界線の確定なども遅れているからである。これは、本基金のスタート時点において想定されていたことであるが、目標面積を達成するために、自治体、森林組合に一層の協力をお願いして、進捗率の向上に努めること。
- ・水源林機能増進のための森林整備の進捗率は、平成27年度141%、平成28年度87%と高水準で推移している。目標面積の達成のために、さらに計画的に進めること。
- ・松くい虫被害地の再生のための森林整備の進捗率は、平成27年度155%、平成28年度70%となっている。計画面積の36%を完了しているが、目標面積を達成するために取り組むこと。
- ・一般的には、計画に遅れが見られる。これは山村地域の過疎化、高齢化に伴い、山林所有者の特定、境界線の確定がスムーズに進められないことが背景となっており、難しい側面もあるが、自治体、森林組合の協力を得て、進捗率向上のために一層の工夫を行うこと。
- ・以上のような現状、課題があるものの、条件不利地の森林整備は、本基金によって初めて手がけられた事業であり、地域の森林の状況を熟知している県だからこそ可能となる事業であると評価される。

Ⅱ 森林ボランティア活動・森林環境教育の推進 《緑化推進課》

1 概要

● 森林ボランティア活動の推進

「森林ボランティア支援センター」を運営し、専用ホームページや情報誌、メールマガジン等による情報の収集・発信や刈払機の取扱いなどの安全指導、森林整備作業器具の貸出し、森林ボランティア体験会の開催など、森林ボランティア活動への一体的なサポートを実施します。

また、「森林ボランティア体験会」や「ボランティア交流会」の開催、市町村提案型事業等への講師・コーディネーターの派遣業務等を実施します。

● 森林環境教育の推進

新たな「緑のインタープリター」を養成し、小中学生を対象にしたフォレストリースクールや市町村提案型事業（森林環境教育）、緑の少年団育成事業、県民を対象にした自然観察会、自然講座等への派遣などを通じて森林環境教育を推進します。

2 実施状況

【平成28年度の実績】

12,937千円

○森林ボランティア活動の推進

- ・森林ボランティア支援センターの運営
- ・専用ホームページ「モリノワ」の運用
- ・情報誌「モリノワ」、メールマガジンの発行
- ・森林整備作業用の機械・器具の貸し出し：77回
- ・安全講習会の開催 開催回数：11回、参加人数：394名
- ・森林ボランティア体験会の開催：開催回数：5回

○森林環境教育の推進

- ・緑のインタープリター養成講座の開催
 - ・新規講座：12回（養成者数22名）
 - ・経験者講座：4回（養成者数4名）
- ・緑のインタープリター登録者数：94名
- ・フォローアップ研修 開催回数：3回



情報誌「モリノワ」



貸出し機材



刈払機の安全講習会



ボランティア体験会



指導者養成講座

3 成果

○森林ボランティア活動の推進

森林ボランティア支援センターを運営し、専用ホームページや情報誌、メールマガジンなどによる情報発信や刈払機取り扱いなどの安全研修、森林整備作業器具の貸出、新規参入を促すボランティア体験会などを実施し、森林ボランティア団体の活動を支援しました。

○森林環境教育の推進

- ・指導者養成講座の実施により、新たに26名の「緑のインタープリター」を養成しました。
- ・新たに開始した「緑のインタープリター活動登録制度」により94名が活動登録しました。
- ・登録した緑のインタープリターは、市町村提案型事業(森林環境教育)や出前授業の「小・中学生のためのフォレストリースクール」の講師など多方面で活動を行いました。

4 課題・方向性

○森林ボランティア活動の推進

- ・県民自らが森林や林業に関心を持ち森林保全や森林整備の必要性について理解を深めることが重要なことから、森林ボランティアに取り組む団体等の支援をさらに推進する必要があります。

○森林環境教育の推進

- ・森林や自然に対する県民の関心と理解を深めるためには知識・ノウハウのある指導者が不可欠なことから、引き続き指導者の計画的な養成を図っていく必要があります。
- ・また、フォレストリースクールや市町村提案型事業(森林環境教育)等の指導者ニーズに対応するため、指導者の量的・質的確保を図る必要があります。

5 実施状況の評価（評価者：県）

○森林ボランティア活動の推進

専用ホームページや情報誌、メールマガジンによる情報収集・発信、刈払機などの安全研修、森林整備作業器具の貸出、ボランティア体験会の開催などの取組を行い、おおむね計画どおりに支援を実施しました。

平成28年度末の森林ボランティア団体数は86団体、会員数5,344人(緑化推進課調査)と増加傾向にあります。

○森林環境教育の推進

現地研修や講師実習など実践的なカリキュラムを含め年12回の講座を開催し、26名の「緑のインタープリター」を養成しました。

なお、活動登録者数は94名となり、着実に増加しています。

6 評価検証委員会の意見

・森林ボランティア活動の普及啓発を進めた結果、平成28年度末における森林ボランティア団体数は86を数え、会員数は5,344人に達しており、当該事業の成果は着実に積み重ねられている。

・インタープリターについても新たに26名が加わり登録者は94名に達し、森林環境教育に多大なる貢献をいたした。当該事業の成果も着実に積み重ねられている。

・こうした動きは、ぐんま緑の県民税の導入によって拡大、定着し、県民の森林への関心が高めつつあるとしてもよい。また園児や児童生徒への森林環境教育も市町村提案が他事業にも組み込まれて広がっており、森林県である本県にとって、たいへん意義深い。

・県民が森林県である県の特性に理解を深めることは、ぐんま緑の県民税の意義についても理解を深めることに結びつき、官民一体となった分権型地域づくりの一つのモデルとして高く評価できる。今後は、さらに県民への普及啓発を進め、全県に広がっていくことに期待したい。

1 概要

- 荒廃した里山・平地林の整備

市町村と地域住民やNPO・ボランティア団体等の協働による地域に根ざした森林整備を支援します。

- 貴重な自然環境の保護・保全

市町村あるいは市町村と地域住民が行う、県動植物レッドリストで野生絶滅種及び絶滅危惧種Ⅰ、Ⅱ類に指定されている種(約650種)が生息している地域の保護・保全活動を支援します。

- 森林環境教育・普及啓発

児童生徒や県民を対象とする森林環境教育及び森林体験活動を支援します。

森林の機能や重要性について普及啓発する取り組みを支援します。

- 森林の公有林化

水源地域の森林や平地林の購入(公有林化)あるいは平地林を造成しようとする市町村を支援します。

- 独自提案事業

ぐんま緑の県民税の趣旨・目的に適合し、適切な事業であると認められ、評価検証委員会の承認を得た事業を支援します。

2 実施状況

【平成28年度の実績】

232,872千円

3 平成27年度繰越事業

・平成27年度事業のうち、以下の事業については繰越により平成28年度に実施しました。

	繰越			完了			事業量	廃止		
	市町村数	事業数	補助金額(千円)	市町村数	事業数	補助金額(千円)		市町村数	事業数	補助金額(千円)
荒廃した里山・平地林の整備	5	14	62,305	5	12	34,211	森林5ha、竹林5ha	2	2	26,016
貴重な自然環境の保護・保全	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
森林環境教育・普及啓発	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
森林の公有林化	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
独自提案事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	5	14	62,305	5	12	34,211		2	2	26,016

4 平成28年度採択状況

・平成28年度は以下の事業を採択しました。

	計			事業計画量
	市町村数	事業数	補助金額(千円)	
荒廃した里山・平地林の整備	29	197	245,440	森林72ha、竹林30ha、管理144ha
貴重な自然環境の保護・保全	12	25	7,823	動物13種、植物26種
森林環境教育・普及啓発	20	40	19,738	覚満淵等での自然観察会
森林の公有林化	1	1	3,175	水源林3ha
独自提案事業	3	3	3,824	竹林0.5ha、苗木購入1.0ha
合計	35	266	280,000	

5 平成28年度事業実績

・平成28年度は以下の事業を実施しました。

	完了			事業量	参考:繰越			(廃止)		
	市町村数	事業数	補助金額(千円)		市町村数	事業数	補助金額(千円)	市町村数	事業数	補助金額(千円)
荒廃した里山・平地林の整備	29	156	168,313	森林53ha、竹林30ha、管理107ha	6	21	31,932	6	20	15,733
貴重な自然環境の保護・保全	12	25	7,606	動物14種、植物26種	—	—	—	—	—	—
森林環境教育・普及啓発	20	39	18,259	約9500人	—	—	—	1	1	300
森林の公有林化	—	—	(2,645)	—	1	1	530	—	—	—
独自提案事業	2	2	1,838	森林・竹林3ha	—	—	—	1	1	149
合計	35	222	198,661		7	22	32,462	8	22	16,182

※変更等により補助金額の増減があるため、採択時の合計補助金額と実績の合計補助金額は一致しません。括弧は概算払の箇所を示します

・市町村提案型事業の状況



荒廃した里山・平地林の整備（沼田市）



荒廃した里山・平地林の整備（片品村）



荒廃した里山・平地林の整備（東吾妻町）